

ぬまたフライトやまほ



選手の勇姿に熱い声援
第17回ぬまた駅伝大会
3月21日(土)

澄んだ青空の広がる駅伝日和に、小学生から大人までの全77チーム(5人編成)385人の選手が、1区間1.8kmの沼田公園内コースを力走。沿道の保護者や観客からは、懸命にたすきをつなぐ勇姿にたくさんの熱い声援が送られました。

四季折々の沼田を発信
第2回旅写フォトコンテストin沼田入賞作品展
3月23日(月)~29日(日)

「写真を媒介とした連携協定」を締結している本市と日本旅行写真家協会とで、今年もフォトコンテストを共催。県内外から四季折々の応募作品が多数寄せられました。入賞20作品は銀座のぐんまちゃん家(ぐんま総合情報センター)に展示され、来場者へ沼田の魅力を発信しました。



2席「風渡る」山内茂人さん(埼玉県)

未来へつなく利根沼田文化遺産
「文化遺産保存応援定期預金」寄付
3月4日(水)

利根沼田文化遺産の保存や継承などに役立ててもらおうと、利根郡信用金庫の峯川卓美理事長が市役所を訪れ、「文化遺産保存応援定期預金」の預入総額0.05%を本市へ寄付してくださいました。今年で3回目となるこの寄付。累計寄付額は1,000万円を超えました。



1席「春來たる」永井由美子さん(東京都)



3席「全員集合」佐々木務さん(神奈川県)

YOROZU
よろずとーく 95
TALK

迦葉山龍華院弥勒護国禅寺
第41代山主
羽仁 素道さん
(上発知町)
Sodou Hani

天狗の霊峰として知られる迦葉山。雪解けと共に春の息吹を感じさせる奥山で今月28日、いよいよ10年に一度の龍華院弥勒寺中峯堂奥殿(伽藍)の守護神中峯大薩埵(ださだ)の大開帳が始まる。「せっかくなので開帳なので、皆さまには幸せを求めて、ぜひ足をお運びいただきたいです」入山34年。自らの安穩と繁栄を願いながら参拝してほしいと語る第41代山主の羽仁素道さん。「人間は自分で体験してみなければ、その善し悪しは分かりません。参拝も同じですね」中峯堂奥殿の最も高い位置に鎮座する白狐の背に乗ったお天狗様までは54の階段が続く。往



中峯堂拝殿内の奥殿入口

来の108段は煩惱を滅する慈悲深い道のりとなる。「108の煩惱を滅すること、今までの罪障消滅になります。一度参拝されると分かりますが、非常にすがすがしい気持ちになります。パワースポットも注目されていますが、ご開帳の参拝はそれ以上ですね」開帳期間中は、さまざまな行事が行われる。参拝者の法要のほか、東日本大震災などの被災者への供養もなされる。「近頃、命が奪われる理解がたい事件が多いです。尊い命が粗末にされている。我々の世界では説明が付かない。若者にもっと願いや目的を持つてほしい」山主の起床は早朝5時。中峯堂での祈禱とともに皆の身体健全と幸福を常に願っている。

10年1度の迦葉山大開帳 平成27年4月28日(火)~5月28日(木) 参拝無料



日本一の大天狗面
中峯堂「ちゅうぼうどう」

中峯堂(鎮守堂)は平成7年大開帳を記念して拝殿部分を全面改修した、間口8間、奥行21間の山岳造りです。当山の鎮守様をお祭りする建物で正面入口左側には地元有志によって奉納された二体の身代わり大天狗が安置されています。一体は昭和14年地元商工会有志が出征軍人の戦勝と武運を願って5万人の祈願札を貼り作られたお面(顔の丈6.5m、鼻の高さ2.8m)で、もう一体は昭和46年10月大天狗奉賛会により交通事故撲滅のために作られたお面(顔の丈5.5m、鼻の高さ2.7m)です。更に願掛けの人達のお天狗様が多数祭られています。

また、昭和58年に沼田青年会議所より奉納され、座禅堂に安置された「諸願成就大天狗」(顔の丈4.2m、鼻の高さ2.0m)は、市内街なか天狗プラザに安置された「観光大天狗」(顔の丈4.3m、鼻の高さ2.9m)とともに、毎年8月3~5日に行われる「沼田まつり」において女性達に担がれた「天狗みこし」として大変人気を博しています。



←QRコード



中峯堂奥殿最上部にお天狗様が鎮座



往來の108段



迦葉山全山案内図

迦葉山参りでは、「最初の年、中峯堂から天狗面を借りて帰り、次にお参りする機会に借りた面を持ち、さらに門前の店で新しい面を求めて添え、寺に納めた別の面を借りてくる」というならわしになっています。



奉納された天狗面